

米子市公共下水道施設地域連携方式包括的民間委託導入支援業務

業務仕様書

1 業務目的

米子市では、過年度に実施した米子市下水道施設等包括的民間委託導入可能性調査業務（以下「過年度業務」という。）の成果より、地域企業の下水道事業への主体的な参画を目的とした、「地域連携方式による包括的民間委託」（以下「地域連携包括委託」という。）を導入する方針としている。

本業務は、本市における最適な地域連携手法の検討を行い、市が企業への事業説明及び意見交換を目的に開催する「公民連携プラットフォーム」の運営支援を行うとともに、民間事業者からの意見を反映した公告資料の作成を行うことを目的とする。

2 対象施設の概要

公共終末処理場 [3 施設]

施設名	運転開始	排除方式	処理能力 (m ³ /日最大)	処理方式
内浜処理場 終末処理場 (1 施設目)	昭和 49 年	分流式 (一部合流式)	41,520	汚水:標準活性汚泥法及び凝集剤添加活性汚泥循環変法 汚泥:重力濃縮・機械濃縮→消化→脱水
皆生処理場 終末処理場 (2 施設目)	昭和 55 年	分流式	39,300	汚水:標準活性汚泥法 汚泥:集泥槽→送泥(内浜処理場)
淀江浄化センター 終末処理場 (3 施設目)	平成 12 年	分流式	3,400	汚水:オキシデーションディッチ法 汚泥:重力濃縮→脱水

ポンプ場 [8 施設]

施設名	運転開始	排除方式	ポンプ場の種類	ポンプ設備
中央ポンプ場 合流式ポンプ場 (1 施設目)	昭和 48 年	合流式	汚水 雨水	1号汚水ポンプ φ350 13.2m ³ /min 3号汚水ポンプ φ450 28.2m ³ /min 4号汚水ポンプ φ450 28.2m ³ /min 5号汚水ポンプ φ450 28.2m ³ /min 1号雨水ポンプ φ1000 132.4m ³ /min×6.2m 2号雨水ポンプ φ1350 265 m ³ /min×6.3m 3号雨水ポンプ φ1350 265 m ³ /min×6.3m 4号雨水ポンプ φ1350 265 m ³ /min×6.3m

施設名	運転開始	排除方式	ポンプ場の種類	ポンプ設備
祇園ポンプ場 分流式汚水中継ポンプ場 (2施設目)	平成2年	分流式	汚水	(常時1台運転) No.1 汚水ポンプ φ150 2.04m ³ /min No.2 汚水ポンプ φ150 2.04m ³ /min
大谷ポンプ場 分流式汚水中継ポンプ場 (3施設目)	平成4年	分流式	汚水	(常時1台運転) No.1 汚水ポンプ φ250 5.5m ³ /min No.2 汚水ポンプ φ250 5.5m ³ /min
新加茂ポンプ場 分流式汚水中継ポンプ場 (4施設目)	平成4年	分流式	汚水	(常時1台運転) No.1 汚水ポンプ φ300 10.7m ³ /min No.2 汚水ポンプ φ300 10.7m ³ /min
上福原ポンプ場 分流式汚水中継ポンプ場 (5施設目)	平成2年	分流式	汚水	(常時1台運転) No.1 汚水ポンプ φ100 0.96m ³ /min No.2 汚水ポンプ φ100 0.96m ³ /min
西福原ポンプ場 分流式汚水中継ポンプ場 (6施設目)	平成17年	分流式	汚水	(常時1台運転) No.1 汚水ポンプ φ250 6.6m ³ /min No.2 汚水ポンプ φ250 6.6m ³ /min No.3 汚水ポンプ φ250 6.6m ³ /min
富益団地ポンプ場 分流式汚水中継ポンプ場 (7施設目)	平成13年	分流式	汚水	(常時1台運転) No.1 圧送ポンプ φ100 1.2m ³ /min No.2 圧送ポンプ φ100 1.2m ³ /min
青木ポンプ場 分流式汚水中継ポンプ場 (8施設目)	平成16年	分流式	汚水	(常時1台運転) No.1 圧送ポンプ φ100 1.15m ³ /min No.2 圧送ポンプ φ100 1.15m ³ /min No.3 圧送ポンプ φ100 1.15m ³ /min

施設名	施設種別
マンホールポンプ場	44箇所
観音寺真空ステーション	真空ステーション (1か所) 汚水循環ポンプ 2台 φ100×5.5kW 真空弁ユニット (28か所)

3 業務の内容

3.1 地域連携手法検討

(1) 基礎資料の整理

過年度に整理した施設情報及び維持管理内容等に加え、市が提供する最新資料をもとに、本業務で対象とする施設に係る基礎資料を整理する。ここで、市が提供する資料として以下を予定している。

- ① 施設概要及び運転状況がわかる資料（運転管理年報、設備台帳等）
- ② 業務委託内容がわかる資料（委託業務仕様書、修繕内容、委託先、委託金額等）
- ③ その他必要な資料（決算書等） 等

(2) 公民連携プラットフォームに係る支援

事業説明や民間事業者からの意見を広く取り入れる場として、「公共下水道施設の包括的民間委託導入に向けた地域連携方針策定及び企業連携のための公民連携プラットフォーム」（以下「公民連携プラットフォーム」という。）を設置する。公民連携プラットフォームの各回（全3回開催を予定。下表を参照。）における運営補助、説明資料の作成（第一回において、「他都市における事例紹介」資料のみ作成とする。）、議事作成等の支援を行う。

また、公民連携プラットフォームの中で、サウンディング型市場調査を予定しており、調査票の作成及び取り纏めを行う。

<地域プラットフォーム開催内容（予定）>

開催回数	開催内容
第1回	・市からの事業説明会（包括的民間委託の概要等） [業務範囲外] ・他都市における事例紹介 [業務範囲内] ・名刺交換会
第2回	・サウンディング型調査 ・対話による意見交換（事業に対する要望等の確認）
第3回	・前回までの活動内容のとりまとめ報告 ・実施方針（案）の公表

※必要に応じて、第4回を行う。

(3) 地域連携手法の検討及び実施方針（案）の作成

公民連携プラットフォームにおいて得られた情報を基に、現在、維持管理委託を受託している一般財団法人米子市生活環境公社（以下「公社」という。）の民営化手法の検討も含めて、地元企業が包括的民間委託に参入しやすい、効率的かつ効果的な地域連携手法について検討を行い、実施方針（案）を作成する。

3. 2 発注支援業務

(1) 基本条件の整理

地域連携手法の検討成果を踏まえ、本市において最も効果的な発注条件を整理する。

(2) リスク・責任分担の検討

本事業における天災、事故、物価の変動、債務不履行等リスクを想定した上で、委託者（市）及び受託者間の責任分担を明確化し、リスク分担表（案）を作成する。

※サウンディング型市場調査による企業からの意見聴取を行い、（1）への反映を行う。

(3) 委託費用の算定

過年度成果及び（1）～（2）の成果を踏まえ、地域連携包括委託に係る委託費用を算定する。

また、将来想定される費用の算出を行うこと（サウンディング型市場調査による聞き取り内容を反映させた複数パターンを算出する）。

(4) 公告及び入札説明書（案）の作成

実施方針（案）に対する民間事業者からの意見や要望等を反映し、入札公告及び入札説明書を作成すること。

(5) 要求水準書（案）の見直し

過年度業務で作成した要求水準書（案）の見直しを行う。

(6) 施設機能報告書等の作成

以下に示す資料を取り纏めた施設機能報告書等を作成する。

①施設機能報告書

各設備の劣化状況・補修履歴や処理実績等処理機能を示す資料の作成、運転要領書、主要施設（設備）の図面の編集等を行う。

②補修（更新）計画予定書

③その他必要な資料

(7) 技術提案書審査要領等の作成

民間事業者を選定するための資格審査基準、提案書等審査基準を作成する。

(8) 様式集の作成

民間事業者が提出する入札参加申請、技術提案書及び入札書等の書類様式を定めた様式集を作成する。

(9) 契約書（案）等の作成

業務範囲、業務要求水準、リスク分担、契約解除事由事項、損害賠償などが網羅された契約書（案）を作成する。

(10) 履行監視、評価マニュアル作成

適正な履行監視、評価を行うことを目的とした、マニュアルを作成すること。本業務で定めた内容等を反映させたものとする。

(11) その他必要な資料の作成等

公告資料作成のほか、庁内検討用資料等の作成・支援を行う。また、事業者選定は市が行うため、資料作成にあたっては資料の根拠や出典等を明記し、わかりやすくなるよう配慮すること。

3.3 法務確認業務

米子市独自による事業スキームとなるため、本業務で検討したスキーム及び作成した資料等に、「公平性があるか」及び「違法性がないか」などについて、専門機関への聞き取り等を含めた法務確認業務を行うこと。業務の各項目について、法務確認内容がわかるように纏めること。

3.4 成果品とりまとめ

当該業務の成果を報告書としてまとめる。

報告書 A4	金文字製本	1部
	バインダー製本	2部
	電子媒体 (CD-ROM)	1式

4 打合せ協議

初回及び納品時に加え、中間（3回程度）の打合せ協議を実施する。また、公民連携プラットフォームへ事務局側として参加する。

【添付資料】

資料1 地域連携方式包括的民間委託のロードマップ（スキーム案）

資料2 地域連携方式包括的民間委託導入に向けたスケジュール